

豊中の未来を描こう！！

発行 2025年2月

かんばんこういちろう

神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

VOL. 220

視察から
学べることも
たくさんあります

豊中市議会議員

無所属



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

今年度の視察報告～学びから活用へ！！～

これからの図書館のあり方とは！？

『民間活力を生かしたサービス拡充』

＜佐賀県武雄市＞

武雄市は図書館開館以来、来館者数の伸び悩みや利用者の固定化、講座やイベント等のノウハウ不足などの課題に直面し続けてきました。そこで、①いつでも利用できる図書館、②居心地のいい図書館の実現を目指し、民間の指定管理者による運営に踏み切られました。

【導入による効果】

- ①365日年中無休の開館が実現
- ②図書館と書店、カフェの融合で、飲食しながら、読書や談話できる施設に進化
- ③ゾーニングにより、読書、勉強、話しながらの学習や事務作業できる空間の創造
- ④年間1000回以上もの様々な講座やワークショップの開催や体験型のイベントの実施

利用者の評価や満足度が大幅アップ

利用者アンケートでは、図書館自体に対し、9割以上の方が満足と答え、図書資料についても、8割弱の方が満足と回答。さらに、図書館スタッフの接遇についても、9割の方が満足と回答。

変革には行政の自己評価や自省が不可欠

365日年中無休の開館や飲食しながら読書を楽しめるといったことは、行政の固定概念や硬直化した発想や仕組みの中では、実現が困難だったとのこと。

総括

運営主体が直営であれ、民間であれ、豊中市においても本の貸出や読書以外にも施設を利用したくなるような魅力やワクワク感が高まる工夫を、ソフト・ハード両面で貪欲に講じるべき！！若年層や子育て世代をはじめ新たな利用者の掘り起こしにもより注力すべき！！

子どもへの虐待を防ぐために！！

『きめ細やかな里親支援』

＜福岡県福岡市＞

福岡市は市内の民間団体と協働で、子どもへの虐待を防ぐ『親子支援モデル』を構築されました。

【親子支援モデルとは】

- ・地域の総合的な親子支援拠点の整備
- ・訪問による相談助言体制の構築
- ・通所による親子への心理療法プログラムの提供
- ・親子宿泊による育児訓練と生活支援の実施
- ・ワンストップ型の母子支援拠点の整備
- ・オンライン妊娠相談や訪問相談、受診同行
- ・里親募集の広報とリクルートの強化
- ・里親の普及啓発や養成研修、保護者支援の実施

里親委託率が大幅アップ

令和5年度は新規で68世帯の里親登録があり、里親登録は合計324世帯に増加。また、児童相談所の措置児童数が平成26年度の429名から、令和5年度には268名に減少するなど、里親委託率が向上。

前例のない取り組みには課題も・・・

全国初の試みである「里親家庭での親子宿泊」による身近な寄り添い型の子育て支援については、里親家庭に子どもと実親と一緒に泊まることに対する児童、実親、里親それぞれに葛藤や抵抗感があるため、課題も多い。

総括

人材面、財政面をはじめ、社会の認識や理解の醸成など克服すべき課題は少なくないものの、子どもへの虐待を防止、抑制するため、虐待を受けた子どものケアを担ってきた民間団体や里親等と連携、協働して、様々な親子支援策を、豊中市でも可能な限り、積極的に講じるべき！！

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。
メールアドレス：young_spiritjp@yahoo.co.jp



空港問題調査特別委員会視察報告



使用済みの食用油で飛行機を飛ばす時代へ！！

『国内初、SAF（サフ）の製造工場が稼働間近』

＜コスモ石油堺製油所（大阪府堺市）＞

航空機は交通インフラの中で、二酸化炭素の排出量が多い乗り物で、カーボンニュートラルの実現に向けて、その削減は喫緊の課題です。そうした中、注目を集めているのが、次世代の航空燃料『SAF』です。コスモ石油堺製油所（堺市）では、本年（2025年）初頭にも、飲食店や工場で使用された廃食油を原料とし、年間約3万キロリットルの供給を目標に、国内初のSAFの量産が開始予定となっています。

【SAFって何!?!】

SAFとは、「持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)」の略称で、廃食油、微細藻類、木くず、サトウキビ、古紙などを主な原料として製造されます。既存の化石燃料(石油など)から作られた航空燃料と比べ、原料の生産・収集、製造、燃焼までのライフサイクル全体でCO₂排出量を約8割削減できるとされています。

【SAFのメリット】

①二酸化炭素の排出量が削減できる

SAFは植物などバイオマス由来の原料や飲食店などから排出される廃食油などに含まれる炭素から主に製造され、**主な原料となる植物は、光合成を行う際に大気中のCO₂を吸収するため、CO₂をほとんど増やすことなく、航空機の利用が可能になる**

②国産の原料で生産できる

SAFの原料は廃食油や廃プラスチックなどのため、**国内の原料で生産可能であり、資源の乏しい日本にとって大きなメリットとなる**

③既存の航空機が活用できる

SAFは従来の航空燃料と同じように使えるため、**既存の機体やインフラがそのまま使用できる**

【SAFの課題】

①製造コストが高い

SAFの製造コストは約**200円～1600円/L**で従来の航空燃料(約**100円/L**)と比べ、非常に高い

②社会や国民の認識や意識、理解が希薄

海外に比べ、日本では、SAFに対する認識や意識が薄く、原料となる廃食油の収集体制が未確立



インフォメーション

豊中市議会 3月定例会の予定

◆本会議(初日) 2月21日(金) 午後1時から

◆本会議(代表質問) 午前10時から

3月3日(月)、4日(火)、6日(水)



神原所属大阪維新の会・無所属議員団の
代表質問は**6日(水)**の予定

◆各常任委員会 午前10時から

3月10日(月)、11日(火)、12日(水)、13日(木)

神原在籍、文教常任委員会は**12日(水)**の予定

◆本会議(最終日) 3月21日(金) 午後1時から

※変更する場合もございますので、議会事務局まで
ご確認下さい。(議会事務局議事課: TEL: 06-6858-2633)

各常任委員会・個人質問共にインターネット中継配信中!!

http://toyonaka.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp

神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町3-1-20 エルビル 2階

TEL&FAX: 6854-5664

平日(土・日祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

<http://positive-square.sakura.ne.jp/>

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。

発行元 大阪維新の会・無所属議員団(神原所属会派)

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 ☎6858-2525(代表)

